
ごあいさつ



我が国においては、アジアを中心とする新興国の経済成長や、それに伴う国際観光需要の伸び、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、訪日外国人旅行者数を2020年に4,000万人、2030年に6,000万人に伸ばすという目標を掲げています。

本市においても、八代港が「国際旅客船拠点形成港湾」に指定され、官民連携による整備が大きく進展することから、クルーズ客船寄港に伴う外国人観光客の大幅な増加が見込まれるなど、大きな経済効果が期待されています。

また、国際化が進む中、「くまもと県南フードバレー構想」のさらなる推進や、「ユネスコ無形文化遺産」に登録された八代妙見祭の振興など、本市が持つ恵まれた地域資源や歴史・文化を全国・世界へ発信し、本市の活性化につなげていかなければなりません。

加えて、2020年には八代港国際クルーズ拠点が整備され、災害対策やまちづくりの拠点となる新庁舎が2021年に完成予定であることなど、本市の発展に向けたインフラが次々と整備されるこの4年間は極めて重要な意味を持っています。

このような状況をふまえ策定した、第2次八代市総合計画では、「しあわせあふれる ひと・もの 交流拠点都市“やつしろ”」を本市が目指す将来像として掲げ、子どもから高齢者まで、安全で安心に、そして快適に暮らせるまちづくりを進めるとともに、県南地域の中核都市として、南九州における物流・人流の拠点機能をさらに高め、一層魅力あふれる都市として飛躍することを目指します。

また、本市が抱える政策課題を5つの基本目標として、「誰もがいきいきと暮らせるまち」「郷土を担い学びあう人を育むまち」「安全・安心・快適に暮らせるまち」「地域資源を活かし発展するまち」「人と自然が調和するまち」に整理し、その目標を達成するために、さまざまな施策に全力で取り組んでまいります。

市民の皆様、ふるさと八代を未来へつなぐために、ともにまちづくりを進めてまいりましょう。

結びに、この計画の策定に際し、ご審議いただきました八代市総合計画策定審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました多くの市民の皆様と関係各位に対しまして、心よりお礼申し上げます。

平成30年3月

八代市長 中村博生

■ 目 次 ■

第1部 基本構想（序論）

第1章 総合計画の概要

1. 計画策定の背景と目的	
(1) 背景	2
(2) 目的	2
2. 総合計画の性格と役割	
(1) 市民との協働によるまちづくりの指針	2
(2) わかりやすい計画	2
(3) 実効性があり活用される計画	2
3. 総合計画の構成	3
4. 総合計画の期間	3
5. 総合計画と他の計画の関連性	3

第2章 八代市の現状

1. 八代市の概要	4
2. 人口・世帯・産業構造	
(1) 人口の推移と推計	5
(2) 校区別人口の推移	6
(3) 世帯数の推移と推計	7
(4) 就業人口の推移と推計	7

第3章 八代市を取り巻く社会情勢

1. 人口減少と少子高齢社会の進行	8
2. 教育を取り巻く環境の変化とニーズの多様化	9
3. 防災体制の機能強化と防災・減災意識の高まり	9
4. 国際化の進展と産業を取り巻く環境の変化	9
5. 地球温暖化・循環型社会への対応と自然との共生	10
6. 厳しさを増す行政運営	10
7. 複雑化・多様化する地域課題への対応	10

第2部 基本構想（本論）

第1章 市の将来像

1. 目指す将来像について	12
(1) 目指す将来像	12
(2) 将来像の言葉に込められた意味	12
(3) 目標年度	12
2. 目標人口について	13
(1) 目標人口の考え方	13
(2) 推計人口と目標人口	13

第2章 まちづくりの目標

1. 基本目標	15
2. 施策の大綱	
基本目標 誰もがいきいきと暮らせるまち	17
基本目標 郷土を担い学びあう人を育むまち	18
基本目標 安全・安心・快適に暮らせるまち	19
基本目標 地域資源を活かし発展するまち	21
基本目標 人と自然が調和するまち	22

第3部 第1期基本計画

基本目標 誰もがいきいきと暮らせるまち

1. 人権が尊重されるまちづくり	
人権	
(1) 人権教育・人権啓発の推進	26
(2) 人権擁護の推進	27
男女共同参画	
(3) 男女共同参画の意識づくり	28
(4) あらゆる分野への男女共同参画の促進	29
2. 安心して子どもを産み育てられるまちづくり	
母子保健	
(5) 妊産婦の健康支援	30
(6) 乳幼児の健康支援	31

子育て

- (7) 子育て環境の充実 32
- (8) 子育てと就労の両立支援 33

3. 支え合い健やかに暮らせるまちづくり

地域福祉

- (9) 地域福祉の推進 34

健康づくり

- (10) 健康づくりの推進 35
- (11) 生活習慣病予防の推進 36

障がい者

- (12) 障がい者の自立と社会参加の支援 37
- (13) 障がい者への福祉サービスの充実 38

高齢者

- (14) 生涯現役社会の実現と多様な担い手による生活支援の充実 39
- (15) 介護保険事業の適切な運営 40

医療

- (16) 在宅医療と介護の連携 41
- (17) 地域医療の推進 42
- (18) 医療保険制度の適切な運営 43

社会援護

- (19) 生活困窮者に対する包括的な支援 44
- (20) 生活保護行政の適正な運営 45

基本目標 郷土を担い学びあう人を育むまち

1. 「生きる力」を身につけた未来を担うひとづくり

学校教育

- (21) 幼児教育の充実 46
- (22) 学校教育の充実 47
- (23) 教職員の資質・指導力の向上 48
- (24) 教育環境の整備・充実 49

社会教育

- (25) 学校・家庭・地域の協働 50

(26) 青少年健全育成	51
2. 誰もが学べる生涯学習のまちづくり	
生涯学習	
(27) 生涯学習施設と連携した生涯学習推進体制の整備	52
(28) 社会教育施設の整備・充実	53
3. スポーツに親しむまちづくり	
スポーツ	
(29) 生涯スポーツの推進	54
(30) 地域スポーツの推進	55
(31) 競技スポーツの推進	56
(32) スポーツ施設の整備・充実	57
4. 郷土の文化・伝統に親しむまちづくり	
文化・歴史	
(33) 多様な文化財の保存・継承と活用	58
(34) 芸術・文化活動の推進	59
(35) 文化施設の整備・充実	60

基本目標 安全・安心・快適に暮らせるまち

1. 災害に強く安全・安心なまちづくり	
防災	
(36) 防災意識の高揚	61
(37) 防災基盤・体制の充実	62
(38) 土砂災害防止の促進	63
(39) 洪水・浸水防除の促進	64
消防	
(40) 消防力の充実	65
危機管理	
(41) 危機管理指針・計画などの整備	66
防犯	
(42) 防犯対策の推進	67

消費者行政

- (43) 消費者意識啓発の推進 68
- (44) 消費生活相談の充実 69

交通安全

- (45) 交通安全運動の推進 70
- (46) 交通安全施設の整備 71

2. 快適に暮らせるまちづくり

土地利用

- (47) 土地利用の適切な誘導 72
- (48) 地籍調査事業の推進 73

住環境

- (49) 住環境の整備 74
- (50) 良質な住宅の供給 75
- (51) 耐震化の推進及び建築物の安全対策 76

公園・緑地

- (52) 公園・緑地の充実 77

上水道

- (53) 水の安定供給 78
- (54) 水道経営の健全化 79

下水道

- (55) 快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全 80
- (56) 下水道経営の健全化 81

市街地形成

- (57) 良好な市街地の整備 82
- (58) 広域交流拠点の整備 83
- (59) 良好な景観の形成 84

情報基盤

- (60) 携帯電話エリアの整備推進 85
- (61) 超高速通信網などの整備促進 86

3. 暮らしを支えるまちづくり

道路

- (62) 広域交通網の形成 87
- (63) 生活関連道路の整備 88

港湾

- (64) 港湾の機能充実 89
- (65) 八代港の利用促進 90
- (66) 親しまれる港づくり 91

4. 公共交通の充実したまちづくり

公共交通

- (67) 公共交通体系の整備 92

基本目標 地域資源を活かし発展するまち

1. 活力ある産業と雇用を創出し魅力に満ちたまちづくり

農業

- (68) 担い手の確保・育成 93
- (69) 需要に応じた農産物の生産振興 94
- (70) 農業生産性向上による経営の安定 95
- (71) 農村環境の整備 96

林業

- (72) 担い手の確保・育成 97
- (73) 林業生産基盤の充実 98
- (74) 林業経営の安定 99
- (75) 森林の保全・育成 100

水産業

- (76) 担い手の確保・育成 101
- (77) 水産業生産基盤・環境の整備 102
- (78) 漁業経営の安定 103
- (79) 栽培漁業の推進 104

商業

- (80) 魅力ある商店街づくりの促進 105
- (81) 中心市街地の活性化 106

企業振興

(82) 地域での雇用・就労の促進	107
(83) 地場企業の育成	108
(84) 企業誘致の推進	109

フードバレー

(85) 食の拠点・ブランドづくり	110
(86) 国内外の販路・連携体制づくり	111

2. 交流人口の増加によるにぎわいのあるまちづくり

観光

(87) 八代の魅力発信	112
(88) 地域資源の活用と観光コンテンツの開発	113
(89) 広域観光の推進	114
(90) インバウンドの推進	115

基本目標 人と自然が調和するまち

1. 環境を支えるひとづくり

環境学習・環境保全行動

(91) 環境保全行動の促進	116
----------------	-----

2. 自然と共生するまちづくり

自然環境

(92) 自然環境・生物多様性の保全	117
--------------------	-----

生活環境

(93) 環境汚染の抑制・監視	118
(94) 地下水の保全	119
(95) 生活排水対策の推進	120
(96) 衛生環境の充実	121

3. 環境への負荷が少ない持続可能なまちづくり

地球環境

(97) 地球温暖化対策の推進	122
(98) 再生可能エネルギーの普及	123

循環型社会

(99) ごみの減量化及び資源化の推進	124
(100) 廃棄物処理施設などの整備	125
(101) 廃棄物の適正処理の推進	126

第4部 計画推進の方策 第三次八代市行財政改革大綱

第1章 これまでの行財政改革の取組み	128
第2章 第三次行財政改革の基本的な考え方	131
1. 継続した改革の必要性	131
(1) 財政見込み	131
(2) 熊本県内14市平均値及び類似団体平均値との比較	133
2. 第三次八代市行財政改革大綱の位置づけ（八代市総合計画との関係）	138
3. 改革の基本方針	139
4. 改革が指すもの	
(1) 効率的で健全な行財政運営（行政運営、財政運営、情報化）	140
(2) 市民協働の推進（市民参画、住民自治）	140
第3章 改革の柱と改革の方策	
改革の柱1 効率的な行政運営	141
改革の柱2 健全な財政運営	143
改革の柱3 情報化の推進	145
改革の柱4 市民参画の推進	146
改革の柱5 住民自治の推進	147
第4章 改革の推進	
1. 大綱の期間	149
2. 推進体制	149
3. 実施計画の策定	149
4. 進行管理及び公表	149

付属資料

1 諮問（第2次八代市総合計画）	152
2 答申（第2次八代市総合計画）	153
3 八代市総合計画策定審議会委員名簿	155
4 答申（八代市行財政改革推進委員会）	156
5 八代市行財政改革推進委員会委員名簿	157